

川口市各種検診を予約される方へ

※受診券(はがき)、診察券をお持ちの方は、電話をされる際にご用意ください。

予約専用電話番号 (乳がん検診を除く)

☎ 048-252-4280

検診内容	対象年齢	検診費用
大腸がん	40歳以上	500円
★便潜血検査(2日分) ※事前にお渡ししてある便検体(必ず2日分)を、当日お持ち下さい。		
肺がん・結核	40歳以上	500円
★問診・胸部レントゲン検査 ※50歳以上で喫煙指数(本数/日×年数)が600以上の方は、喀痰検査が受けられます。 (喀痰検査を受けられる方は、容器代として別途300円がかかります)		
胃がん(胃内視鏡)	50歳以上 ※2年に1度	2,000円
★胃内視鏡検査 ※鼻からの胃カメラ・口からの胃カメラ選択できます。		
肝炎	20歳以上で今までに受けたことがない方	自己負担なし
★血液検査(B型肝炎ウイルス検査・C型肝炎ウイルス検査)		
特定健康診査	川口市国民健康保険に加入している40歳~74歳の方	自己負担なし
★血液検査、尿検査、心電図検査等		

乳がん検診専用電話番号

☎ 048-229-0707

受付曜日／月曜～土曜(休診日を除く)

受付時間／9:00～16:00(平日)

9:00～13:00(土曜)

受付期間／2023年5月1日～2024年2月29日

検診内容	対象年齢	検診費用
乳がん	40歳以上 ※2年に1度	1,000円
★問診・視触診・マンモグラフィー検査 ※41歳はクーポン券対象者(無料) クーポン有効期間2023年6月1日～2024年2月29日。 クーポン券対象者は例外で2年連続であっても受診できます。 視触診検査のみの実施の場合は、クーポン券使用不可。(自己負担1,000円徴収)		

電話が大変混み合っております。予約をされる方には、大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

また、病気で受診される患者様が優先となる場合がございます。ご理解いただきますようお願い致します。



医療法人 新青会
川口工業総合病院
KAWAGUCHI KOGYO GENERAL HOSPITAL

〒332-0031 埼玉県川口市青木1-18-15
TEL:048-252-4873 FAX:048-252-4865
<http://www.kogyohsp.gr.jp>



医療法人新青会
乳腺外科診療所

〒332-0031 埼玉県川口市青木1-18-21 1-2F
TEL:048-229-0707 FAX:048-251-1011
<http://breast.kogyohsp.gr.jp>



■徒歩の場合 : JR京浜東北線「川口駅」下車徒歩15分
又は、埼玉高速鉄道「川口元郷駅」下車 徒歩7分
■バスの場合 : 「川口駅」東口バス停11番・12番・14番乗場
(国際興業バス・東武バス)のいずれかに乗車[約5分]
「川口工業総合病院」下車

かわこ

医療法人新青会 川口工業総合病院 広報誌 Vol.28

夏号

2023
Summer



医療法人 新青会 川口工業総合病院
KAWAGUCHI KOGYO GENERAL HOSPITAL

twitter

@Kogyoinfo



川口工業総合病院 /
公式SNS 情報発信中

川口工業総合病院からの最新情報や
地域活動のご紹介、時節の話題など
いち早く発信させていただきます!!

LINE
公式アカウント

川口工業総合病院



令和5年度 医療法人新青会 川口工業総合病院 入職式



院長のご挨拶

例年通り桜の花は咲きましたが、今年は去年と違い少し晴れ晴れとした気分で見ることができました。これというのも新型コロナウィルス感染症に少し目処がついたことが大きいと思います。

入職式も久しぶりに行い、徐々に以前の生活に戻れそうです。

思い返せば2020年1月頃から感染が広まりましたが、新規感染症の問題点は、その感染力が不明で治療法もないということです。日本に感染が広まり始めた頃、当院でも発症者が出了た時には軒並みウィルス性肺炎を認めたのには驚きました。当院はその頃から感染者の受け入れを決め

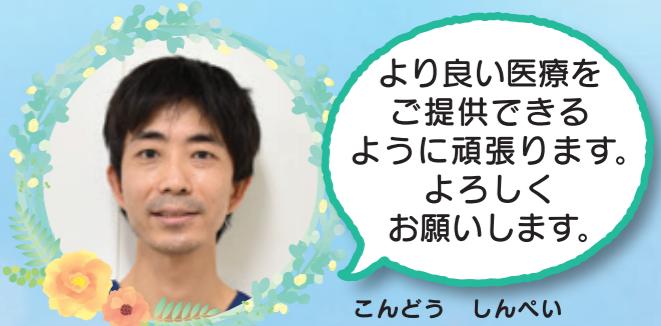
川口市内を始め埼玉県全域から入院を受け入れました。その経験から、当初のウィルス株は肺炎合併例が多く、治療法もないことから大変苦労しましたが、徐々にウィルスの性格も変わっていき御しやすくななりました。ウィルスは感染を繰り返すと弱毒化すると言われますが、そういうことなのかはまだ不明です。油断せず経過を見ていく必要があります。こういう今までにない事態に恐れることなく対応できたのは、病院職員一同の努力と協力があつたからだと思います。これからも当院は、地域の医療の安心と信頼を得るべく努力してい参ります。今後ともどうかよろしくお願ひいたします。



医療法人新青会
川口工業総合病院
理事長・院長
馬場 俊也

新任医師の ご紹介

今年も新しく7人の医師が
川口工業総合病院に入職しました。
どうぞよろしくお願ひします。



より良い医療を
ご提供できる
ように頑張ります。
よろしく
お願ひします。

こんどう しんぺい
近藤 伸平

整形外科

- 血液型／O型
- 出身地／東京都
- 趣味／テニス
- 好きな食べ物／和食
- 休日の過ごし方／子どもと遊ぶ



何でも
気軽に相談して
ください。

あらや なおこ
新谷 尚子

- 血液型／B型
- 出身地／石川県
- 趣味／バスケ、ピアノ
- 好きな食べ物／お寿司
- 休日の過ごし方／子どもと遊ぶ



少しづつ慣れて
いきますので、
よろしく
お願ひします。

ほりうち きよたか
堀内 聖剛

整形外科

- 血液型／O型
- 出身地／大阪府
- 趣味／テニス、旅行
- 好きな食べ物／焼き肉
- 休日の過ごし方／子どもと遊ぶ



お困りのことが
あれば気軽に
ご相談ください。

かやま ひろと
華山 博翔

- 血液型／B型
- 出身地／埼玉県
- 趣味／スノーボード、ドライブ
- 好きな食べ物／焼き肉、コーラ
- 休日の過ごし方／ゴルフ、スノーボード(冬)、ゲーム



患者さんに
親身に頑張ります。
よろしく
お願ひします。

ひらかた しお
平形 志生

整形外科

- 血液型／B型
- 出身地／東京都
- 趣味／スポーツ全般
- 好きな食べ物／ダークチョコ、フルーツ
- 休日の過ごし方／ゆっくり休む！



コミュニケーションを大切に
して、良い医療を
提供できるように
頑張ります。

きたがわ りょう
北川 謙

- 血液型／O型
- 出身地／東京都杉並区
- 趣味／サッカー(観戦することもプレーすることも好き)
- 好きな食べ物／肉料理
- 休日の過ごし方／サッカー観戦、ゴルフ



地域の皆様に
より良い医療を提供できる
ようにしたいと思います。
お気軽にご相談ください。

たけい よしづみ
竹井 義純

循環器内科

- 血液型／A型
- 出身地／大阪府
- 趣味／キャンプ
- 好きな食べ物／肉、寿司
- 休日の過ごし方／ゴルフ

患者サポートセンター

＼お気軽にご相談ください！／を開設しました

2023年4月に入院支援・退院支援・地域医療連携・患者相談の機能をもつ、患者サポートセンターを開設いたしました。

患者サポートセンターってどんなところ？

病気になると健康な時には思いもしなかった様々な心配、不安が出てきます。来院された患者さんが診療を受けるにあたり遭遇する様々な問題の解決をサポートし、引き続き安心して日常生活が送れるよう多職種にわたる職員で支援を行っています



看護師、相談員、事務スタッフの計12名が所属しております

2階改修について

患者サポートセンターを開設にするにあたり2月～3月にかけて改修工事を行いました。工事中は皆様にご迷惑をおかけいたしました。受付を広く設置するとともに、新たに入院の説明をするスペース、個別のご相談をうかがう面談室などを設けました。



明るい半個室の空間です



患者サポートセンター4つの機能

機能1 入院支援

入院が決定した患者さんに対して入院に関する様々なご案内を行うとともに、患者さんの状況把握を担当します。
入院前の検査・処置の確認、入院に必要な書類や手術・検査・治療などに関する同意書についての説明、常備薬の把握や、休止薬の確認及び休薬方法の指導などを行います。また、入院日と来院時間の確認、アメニティー用品のご案内や持参物品の説明、問診票を用いた患者情報・連絡先の確認、入院生活のご案内など、安心して入院治療が受けられるように支援を行っています。
また、入院前から関わることで生活に支障をきたす要因の早期発見に努め、多職種と共有して、円滑な退院準備にもつなげてまいります。

機能2 退院支援

退院調整看護師やソーシャルワーカーを中心、多職種で退院に関する支援を行っています。
具体的には、退院・転院の調整、他施設への入所に関する相談、退院後の介護相談、在宅での医療処置が必要な場合の指導や支援、介護用品の相談と調整などを行います。外部の病院や、訪問診療医・訪問看護師・ケアマネージャーなどと連携しながら、患者さんが退院後も安心して生活できるよう支援いたします。

機能3 相談

患者相談窓口では、患者さんの病気にまつわる様々な問題やお気づきの点を、ご本人やご家族と一緒に解決していくために、専門職員がご相談を承っております。皆様に安心して診療を受けていただけるようにお手伝いさせていただきます。相談については無料です。
例えばこんな時にご相談ください。
○治療や手術について、心配や不安がある。
○社会保険・年金・社会保障・介護保険について知りたい。
○近隣病院・クリニック・診療所等の情報がほしい。
○経済的に心配や不安がある。

機能4 地域医療連携

地域医療連携は「自院と他院・他施設・地域をつなぐ」業務を担当します。かかりつけ医や介護施設からご紹介いただく患者さんがスムーズに受診・入院できるように、また他の医療機関にご紹介する患者さんが速やかに受診・転院することができるよう、医療機関・介護施設など多くの施設を繋ぐ役割を担います。また、地域との関わりに関する機能として、市民公開講座や協議会の開催など、医療機関の連携のみならず患者さんへ開かれた医療機関となるよう努めてまいります。

安全で質の高い医療の提供と安心して生活できる療養環境の整備を目指して、入院前から退院まで患者さんやご家族への支援をさせていただきます。お困りの事がありましたら患者サポートセンターまでご相談ください。

川口工業総合病院は、さまざまな診療科・部門があります。このコーナーでは、業務内容やスタッフなどをご紹介。

麻酔科



～痛みを和らげるスペシャリスト～

当院は、日本麻醉科学会の認定施設であり、麻酔科専門医の常勤医師が4名おります。

麻酔科が何をしているのか、わからない方も多いかもしれません。

麻酔科は手術室での麻酔が主な仕事ですが、入院中や外来の患者さんへ
必要に応じて、痛みの治療も行っております。

★麻酔科のお仕事

大きく分けて術前診察、術中管理、術後診察の3つがあります。

●術前診察

心臓病や糖尿病などの持病をお持ちの方でも安全に手術が行えるように、各診療科と連携を取りながら情報を共有します。そして、それぞれの患者さんの特徴や持病、手術内容に適した麻酔方法を計画します。

その上で、麻酔科医が手術を受けられる患者さん全員と直接お話をさせていただき、不安のない状態で手術を受けられるようにします。

●術中管理

手術中は患者の呼吸・循環・代謝の管理を行い、手術室看護師と協力し術中術後合併症の予防に努めています。また、硬膜外鎮痛法や神経ブロックなど出来るだけ痛みのないような方法で、患者さんの回復がよりスムーズになるよう取り組んでいます。

●術後診察

手術後にも患者さんの診察をします。吐き気や痛み、しびれの程度などを伺い、麻酔に問題が無かつたかチェックします。また、診察内容を記録し、今後当院で手術を受けられる際の参考にします。



★ペインクリニック外来(完全予約制)

ペインクリニックは、慢性の痛みに悩んでいる方が対象です。主にブロック注射や薬物療法を行い、痛みを和らげることによって生活の質を改善することを目的としています。

対象疾患は帯状疱疹、慢性腰痛、肩こり、坐骨神経痛、術後慢性疼痛などです。森哲医師が担当しています。

ご予約電話番号 **048-252-4873**



当院では、年間およそ2,500件の手術が行われており、そのうち麻酔科医が約1,900症例を担当しています。

様々な持病を持った患者さんの麻酔に豊富な経験があります。患者さんが安全に、かつ安心して手術・麻酔を受けて頂けるよう、スタッフ一同、治療にあたっております。

是非当院でお待ちしております。

男性職員“育児休業取得”のサポート体制

～『働きやすい環境づくり』を目指して～

2022年から男性の育児休業取得を促進する法律が段階的に施行されました。

育児休業制度には父母ともに最長満2歳まで取得することができる「①育児休業」、産後8週間以内に4週間まで取得できる「②産後パパ育休(出生児育児休業)」があります。

当院では職員の『働きやすい環境づくり』を日々目指しており、男性職員の育児休業取得も全面的にサポートする体制をとっています。過去5年以内に配偶者が出産した男性職員のうち、47%が育児休業を取得しております。

今回、当院男性職員へアンケート調査を行ったところ、回答者のうち60%が育児休業を取得したいと希望し、同僚が育児休業を取得したいと希望した場合75%が勧めたいと前向きな結果が得られました。

実際取得した職員から「育児の大変さも喜びも知ることができた」という喜ばしいコメントがありました。しかし、「想像の10倍は体力・精神的にキツかった」と

いう現実に直面したリアルな話も聞くことができました。

職員へのコメントを募ったところ、先輩パパである40代職員から「出産後3ヶ月は母体を労ってあげて下さい」という応援をいただきました。また、実際に180日育児休業を取得した20代職員は「妻も余裕を持って育児できることで産後うつなどにならずに済みました。パートナーも希望するのであれば積極的に取るべきだと思います」とコメントしました。

当院では引き続き、男性の育児休業をはじめとした職員の『働きやすい環境づくり』に取り組んでまいります。ともに働きたい仲間も随時募集しておりますので、ぜひホームページ等ご覧ください。

180日育児休業を取得したスタッフへ インタビューしてみました。



Q 育児休業を取得するきっかけになった理由はなんですか？

一緒に育児がしたかったからです。部署の先輩スタッフも取得しており、制度として整っていたので自身も取得できると思いました。

Q 育休前にどのような準備をしましたか？

職場では業務調整、必要書類の準備をしました。担当の患者さんを他スタッフへ依頼するなど、休業しても患者さんが困らないことが第一でした。仕事以外では出産準備や生まれてくる子どもの必要な品も準備に励みました。

Q 育休を取得することで、夫婦関係や家族関係にどんな変化がありましたか？

大きな変化はありませんでしたが、お互いに協力することで感謝の気持ちが増えました。子どもが生まれて親目線になつたので、両親に対しても感謝の気持ちと尊敬の気持ちが増えました。

育児休業の実情から、心がほっこりするエピソードまでありがとうございました。

Q 育休中どういう家事・育児分担でしたか？

特にこれは妻、これは夫と決めて行ってはいませんでした。お互いがその時に出来ることを担当していました。

Q 夫婦で育休取得する際に、どのようなことを気付けたほうがよいと思いますか？

職場の理解があったのもあり、安心して取れたので気に病むことはありませんでした。

Q 育休取得にあたって仕事やキャリアに影響があると感じましたか？

育休から復帰直後の仕事初めの時は疲れはありますが、キャリアなどの影響は今のところ感じていません。

Q 育休中のエピソードをどうぞ

育休期間中も週1勤務をしていましたが、家の赤ちゃん言葉が抜けず、患者さんに『あんよを上げてください』と言つてしまつたことがありました(笑)。